

# これからのまちづくり

= 直面する町政課題の取組状況 =

栗山町長 佐々木 学

# まちが直面する主な課題

1. 栗山赤十字病院の改築問題
2. 北海道介護福祉学校の存続
3. 栗山高校の存続
4. 栗山駅周辺・商店街の活性化
5. 栗山町スキー場の廃止

# 1. 栗山赤十字病院の改築問題

## < 現 状 >

- ・ 建物の老朽化(昭和 5 5 年建築、築 3 9 年)。耐震化問題
- ・ 深刻な医師不足。医師確保が困難な状況

## < 取組内容 >

○ 栗山町の地域医療に関する町民アンケートの実施

【回答数】

6 2 4 件

【アンケート結果（一部抜粋）】

● 町内の医療体制として今後必要な取り組み

1 位	ある程度の医療を受けられる病院の施設整備
2 位	救急患者の受入体制の安定的な維持
3 位	医師や看護師不足を解消するための支援策

○栗山赤十字病院改築等検討委員会の設置

人口減少社会の中で、20年・30年後の受療動向を想定した、住民同意による病院整備手法を検討し、報告書を作成

広域設置

公立病院化

医療機関  
誘致

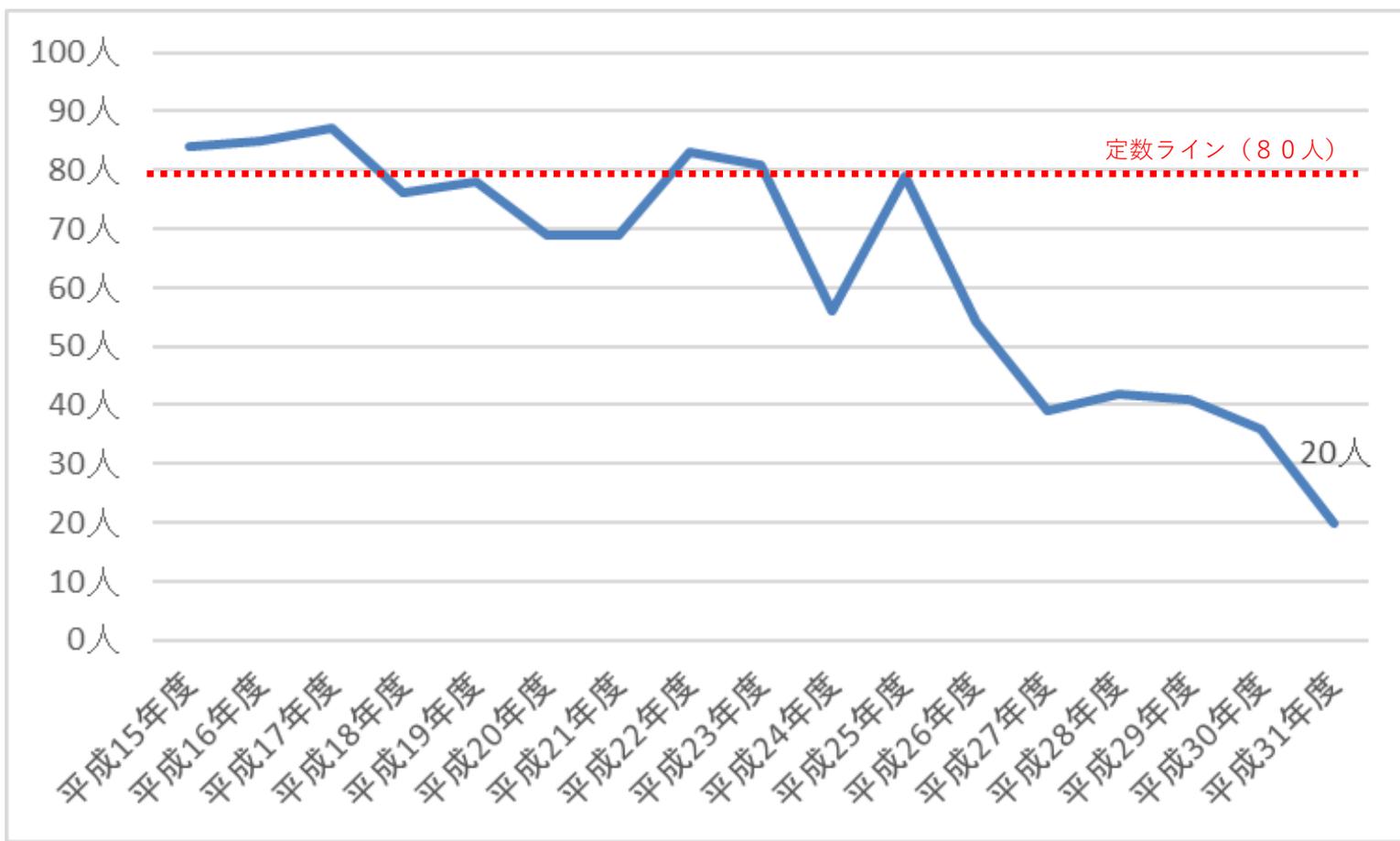
栗山赤十字病院  
改築・改修

※病院整備手法の決定及び病院整備に係る要望書の提出

## 2.北海道介護福祉学校の存続

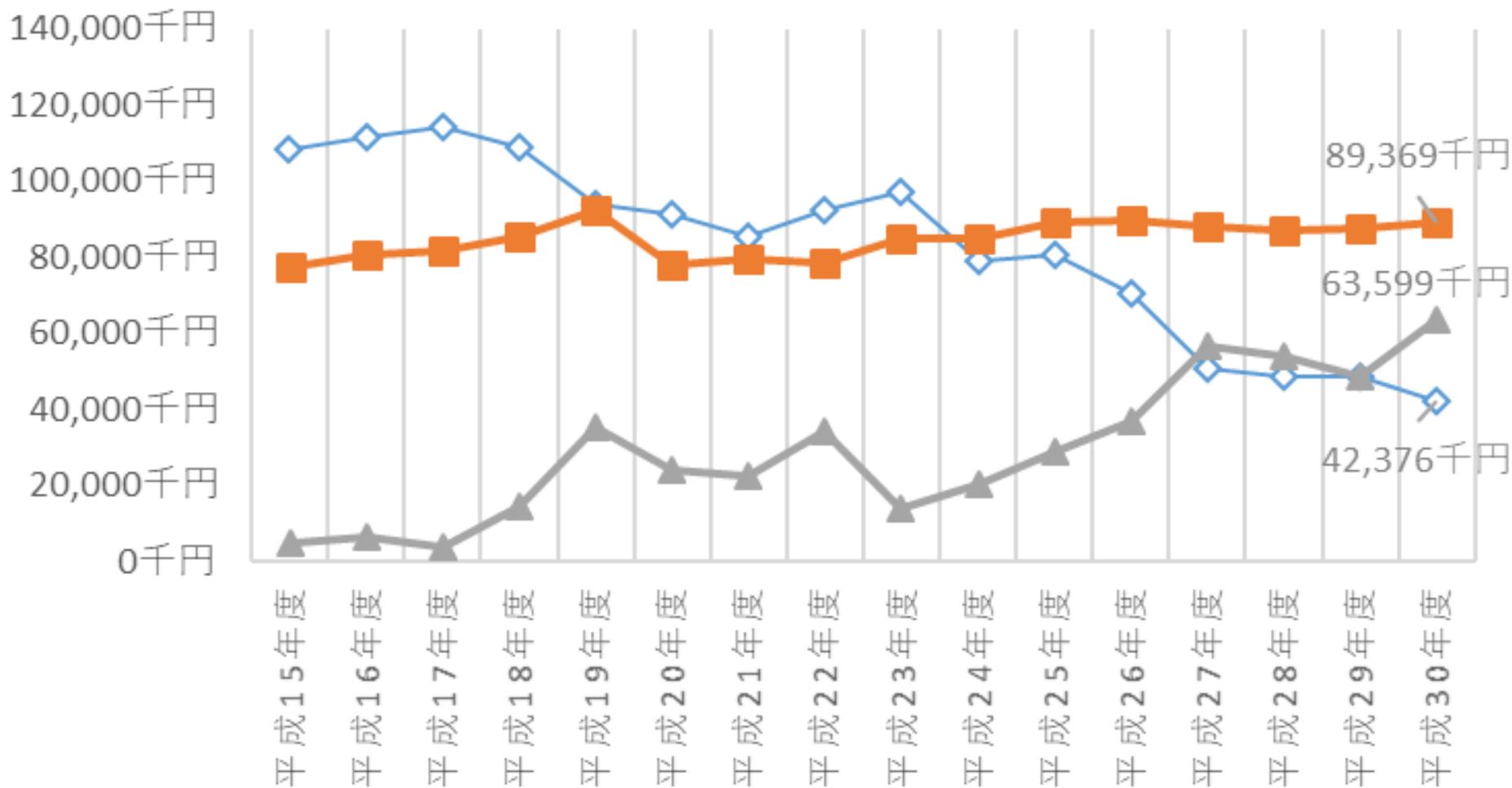
### <現 状>

○入学者数の推移



# ○年度別一般会計繰入金（償還金を除く）等の推移

◇ 収入：授業料・入学金等    ■ 支出：人件費    ▲ 繰入金（償還金除く）



# < 取組内容 >

○北海道介護福祉学校経営改善計画の策定

【経営改善の取り組み（案）】

I 1学年1学級化（定員40人）による学校運営体制の構築

II 地域包括ケアの一環としての学校づくり

III 授業料の改定

IV 学生確保対策

V その他 個別検討していく取り組み

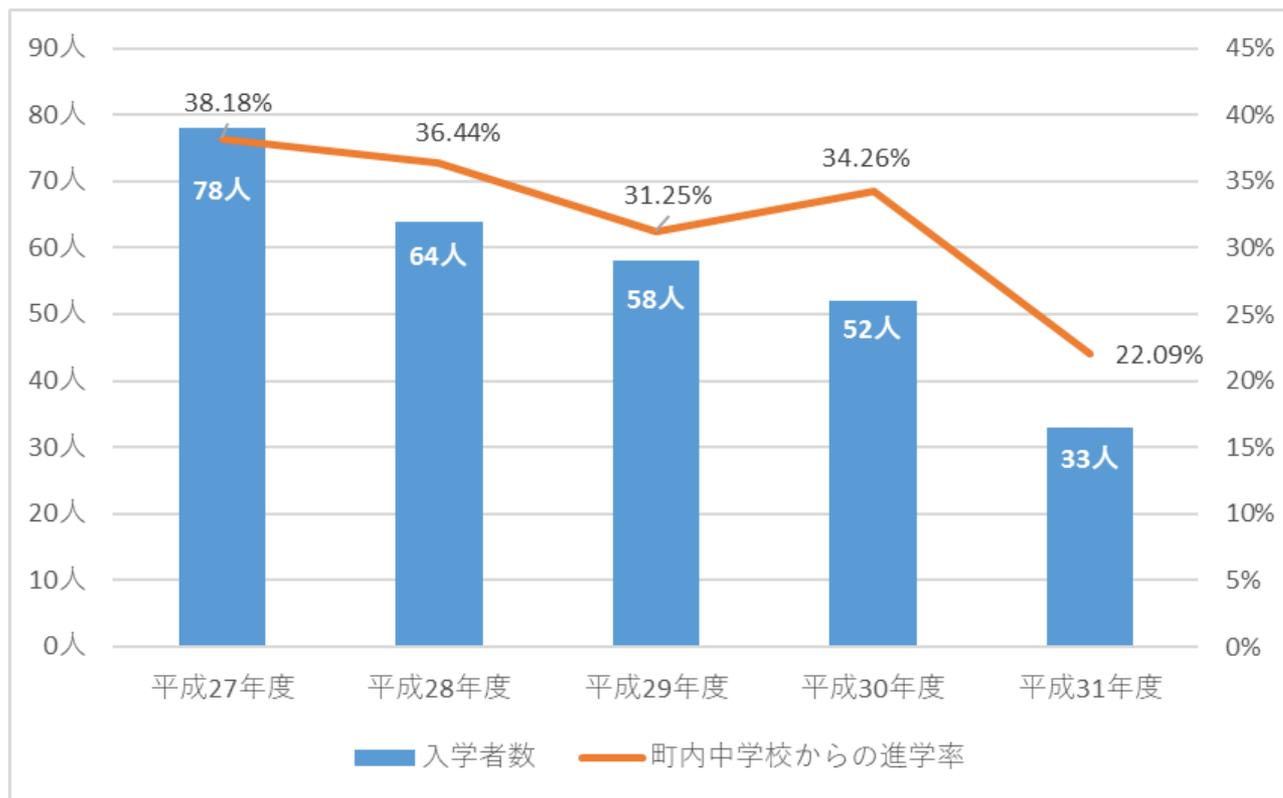
- 北海道と連携し、広域での介護人材確保・養成に係る取り組み（協議の場の設置）の検討
- 道内大学との連携など、国の財政支援を受けることが可能となる学校体制の構築検討 ほか



# 3.栗山高校の存続

## <現 状>

○入学者数の推移



## < 取組内容 >

- 北海道教育委員会に「栗山高校の2間口維持」の要請活動  
→「公立高等学校配置計画（令和2年度～4年度）」が公表  
され、**令和2年度の募集間口の2間口維持が決定**



- 北海道栗山高等学校支援検討委員会での支援策の検討  
【主な支援制度】

- 1 部活動の対外派遣費補助
- 2 学習支援ソフト使用料補助
- 3 進学・公務員模擬試験受験料補助
- 4 資格取得受験料補助
- 5 少年ジェット「希望の翼」の栗山高校生徒枠の創設

○栗山高等学校の魅力づくり委員会の設置

栗山高校の将来の在り方や魅力・特色のある学校づくりについて検討し、報告書を作成

※アドバイザーによる専門的知見の活用



○高校進学に関するアンケート調査の実施

【回答数】

239人

【アンケート結果（一部抜粋）】

●どのようなコースが高校にあってほしいですか

1位	教室での講義だけでなく、体験学習・実習を重視したコース
2位	スポーツや健康について学習できるコース
3位	コンピューターや情報について学習できるコース

# 4. 栗山駅周辺・商店街の活性化

## < 現 状 >

- ・ 商店街の衰退や空き店舗の増加
- ・ 駅周辺の賑わいづくり

## < 取組内容 >

○ 都市再生整備事業の実施

【主な取り組み】

### ● 町道整備事業

菊水通り道路改良工事 ほか

### ● (仮称) MARONプラザ活用事業

観光交流施設としての活用、ものづくりDIY  
工房機能の設置、地域コミュニティFMの開設  
など



# ○栗山町商店街活性化アクションプランの策定

## 【基本目標（方針）】

### I 新たな起業に向けた仕掛けづくり（空き店舗・空き地の解消）

空き店舗情報発信事業（空き店舗バンク）の実施 ほか

### II 新たな集客を呼び起こす仕掛けづくり（集客活動の強化）

栗山ファーマーズマルシェの開催 ほか

### III 地域コミュニティの拠点づくり（コミュニティ機能の強化）

栗夢プラザを中心とした賑わいイベントの展開 ほか

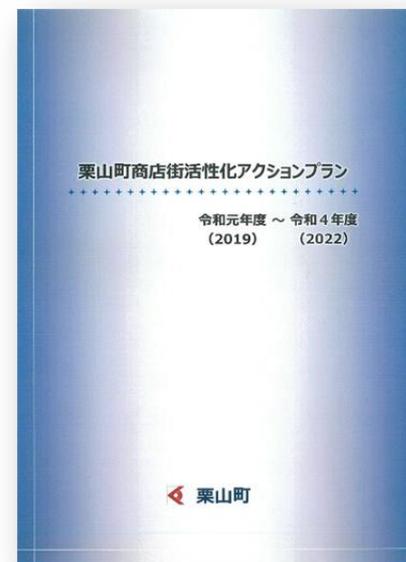
### IV 商店街の知名度づくり（地域ブランドの構築）

地元特産品を活用した商店街ご当地グルメの  
開発 ほか

### V 実行・挑戦の基盤づくり

（後継者・リーダーの育成）

商店街アドバイザー等を活用した繁盛店づくり  
セミナーの開催 ほか



# 5.栗山町スキー場の廃止

## <経過>

### ●平成30年7月～11月

リフト（昭和48年設置）の調査で、基礎及び支柱の劣化が著しく使用が困難 → スキー場の運営休止

### ●平成30年10月～平成31年3月

総合計画審議会（8回）、まちづくり懇談会（25カ所）、意見交換会（10回）で議論

### ●令和元年5月

スキー場の廃止を決断

- ・近隣市町のスキー場が利用できる
- ・少子化によるスキー利用者の減少が見込まれる
- ・リフト及びロッジの建て替えに多額の経費がかかることによる町財政への影響



●令和元年 6月

議会定例会で栗山町スキー場を廃止する条例を提案

●令和元年 7月～9月

議会総務教育常任委員会で審議

●令和元年 9月

議会定例会で栗山町スキー場を廃止する条例を可決

●令和元年 10月

広報くりやま 10月号で町民に周知



## < 今後の取り組み >

- ・ 栗山スキー連盟などからの要望に対する対応
- ・ 栗山町スキー場跡地の活用検討
- ・ 栗山町スキー場リフト及びロッジの解体（令和2年度予定）

将来の町のために  
皆さんの声を  
お聞かせください

